

消化器外科

スタッフ紹介



診療部長
塩崎 敦
教授 (H9)
上部消化管外科
(食道・胃)

藤原 齊 (H13) 准教授
森村 玲 (H13) 講師
小西 博貴 (H14) 講師
山本 有祐 (H14) 講師
小菅 敏幸 (H15) 講師
有田 智洋 (H16) 講師
清水 浩紀 (H17) 講師
名西 健二 (H20) 助教
今村 泰輔 (H21) 助教
木内 純 (H22) 助教
久保 秀正 (H22) 病院助教
西別府 敬士 (H23) 病院助教
倉島 研人 (H25) 病院助教
井上 博之 (H26) 病院助教
西井 (柴田) 梨恵 (H29) 病院助教
住吉 秀太郎 (H29) 病院助教
中道 脩介 (H29) 病院助教

准教授 (H元) 上部消化管外科 (食道)
講師 (H13) 肝・胆・膵外科
講師 (H14) 上部消化管外科 (食道・胃)
講師 (H14) 肝・胆・膵外科
講師 (H15) 上部消化管外科 (胃)
講師 (H16) 下部消化管外科 (大腸)
講師 (H17) 下部消化管外科 (大腸)
助教 (H20) 下部消化管外科 (大腸)
助教 (H21) 肝・胆・膵外科
助教 (H22) 下部消化管外科 (大腸)
病院助教 (H22) 肝・胆・膵外科
病院助教 (H23) 上部消化管外科 (胃)
病院助教 (H25) 下部消化管外科 (大腸)
病院助教 (H26) 上部消化管外科 (食道・胃)
病院助教 (H29) 肝・胆・膵外科
病院助教 (H29) 上部消化管外科 (胃)
病院助教 (H29) 下部消化管外科 (大腸)

私たちの業務

◆ 診療科の紹介

- 18名のスタッフが上部消化管、下部消化管、肝胆膵の各領域に分かれて専門分野の診療を担当しています。
- 消化器悪性腫瘍を中心に診療を行っています。その他、胆石症、潰瘍性大腸炎等の良性疾病、虫垂炎、腸閉塞、消化管穿孔等緊急疾患に対する外科治療も行っています。
- 特に鏡視下手術を積極的に行っており、日本内視鏡外科学会技術認定医8名を中心に多数の腹腔鏡下手術やロボット支援下鏡視下手術を行っています。

◆ 各分野の特徴

☆上部消化管グループ

- 食道癌は年間50例前後の食道切除術を行っています。進行癌に対しては術前化学療法+手術を中心とした集学的治療を行っています。
- 手術術式では、開胸手術と同等のリンパ節郭清を可能とする、腹腔鏡と縦隔鏡を用いた縦隔鏡下食道切除術を独自に開発し、表在癌から進行癌まで切除可能症例に対して幅広く本術式を用いた低侵襲手術を行っています。
- 胃癌に対しては、年間50-60例の胃切除術を行っており、可能な限り体への負担が少ない腹腔鏡・ロボット支援手術を選択するようにしています。癌の根治性を担保したうえで、術後機能障害を最小限にするような機能温存手術も行っています。高難度手術にはロボットを用いることで、高度進行胃癌には周術期化学療法を併用することにより、術後短期・長期成績の向上に努めています。
- 胃GISTに対しては、腹腔鏡手術と内視鏡的切除を併用する腹腔鏡・内視鏡合同手術(LECS)を行うことで、胃の切除範囲を最小限にする工夫をしています。

☆下部消化管グループ

- 小腸、大腸に対する良性疾病、悪性疾病、救急疾患に対する診療を行っています。全身麻酔下の手術件数は約260例程度です。
- 大腸癌に対しては腹腔鏡やロボットを用いた低侵襲手術を積極的に行っており、約9割の症例に低侵襲手術を行っています。
- 直腸癌に対して早期癌には括約筋間直腸切除 (ISR)、進行癌には術前化学療法や術前化学放射線療法を行う等、術後成績の向上と肛門温存率の向上に努めています。また、ロボット (da Vinciやhinotori) 支援下の直腸癌・結腸癌手術も保険診療で行っています。
- 潰瘍性大腸炎に対して腹腔鏡下大腸全摘術を積極的に行うほか、クローン病や腸閉塞症に対する手術にも腹腔鏡手術を行っており、良好な成績を報告しています。

☆肝胆膵グループ

- 肝腫瘍は原発性肝癌、転移性肝癌を中心に年間70-80例の手術を行っており、腹腔鏡下肝切除やロボット支援肝切除等の低侵襲手術を8割以上の症例で行っています。また、手術適応に関しても、放射線科、消化器内科の先生とのカンファレンスに基づき病状に応じた治療を受けていただくように、協力して行っています。
- 胆道癌、膵臓癌に関しては年間60例以上の手術を行い、周術期の抗がん剤治療など集学的治療を行っています。また胆道癌、膵臓癌についても多職種カンファレンスを行い、それぞれの症例に適した治療を相談しています。
- 肝胆膵の手術の中でも肝切除や膵体尾部切除の手術はロボット支援下手術を積極的に導入し、膵頭十二指腸術もロボット支援で行っております。
- 当施設は、日本肝胆膵外科学会の定める高度技能専門医が4名所属しており、日本肝胆膵外科学会高度技能専門医修練施設Aに認定されております。また、3名が肝胆膵領域の日本内視鏡外科学会技術認定を習得しており、高難度手術から低侵襲手術まで幅広い手術を行っています。

外来診療担当医師予定表

令和8年4月1日現在

	月	火	水	木	金
新 患	担当医	塩崎・中道	担当医	塩崎・住吉	担当医
再 診	久保 (肝・胆・膵)	藤原 (食道) 森村 (肝・胆・膵) 有田 (大腸) 清水 (大腸) 柴田 (女性専門)	山本 (肝・胆・膵) 小菅 (胃) 名西 (大腸)	小西 (食道・胃) 木内 (大腸) 西別府 (胃)	今村 (肝・胆・膵)

実際の診療

領 域	疾 患	手 術	全例数	うち腹腔鏡もしくは ロボット支援下手術
食道疾患	食道悪性腫瘍	食道亜全摘	56	56 (縦隔鏡)
		咽頭喉頭食道摘出	1	0
	その他疾患	リンパ節郭清	2	0
		切除	2	2 (胸腔鏡)
		食道疾患合計	61	58
胃疾患	胃悪性腫瘍 (胃癌、食道胃接合部癌、GISTなど)	胃全摘術	11	11
		幽門側胃切除術	48	45
		噴門側胃切除	7	7
		胃局所切除	8	7
		その他	3	3
		胃疾患合計	77	73
小腸大腸疾患	小腸腫瘍 原発性大腸悪性腫瘍 腸閉塞 急性虫垂炎、憩室炎 下部消化管穿孔等緊急手術 潰瘍性大腸炎、家族性大腸腺腫症 クローン病 その他疾患に対する全身麻酔手術	小腸切除術	4	3
		切除術	150	134
		腸閉塞手術	17	7
		虫垂切除など	14	14
		腸管切除、ドレナージなど	22	8
		大腸全摘術	2	2
			3	0
			48	24
		小腸大腸疾患合計	260	192
肝胆膵疾患	原発性肝癌・転移性肝癌 胆石症、胆嚢ポリープ 胆道癌、膵腫瘍	肝切除術	79	64
		胆嚢摘出術	48	48
		膵頭十二指腸切除術	34	6
		膵体尾部切除術	24	19
		膵全摘・膵中央切除	4	2
		肝胆膵疾患合計	189	139

府立医大 消化器外科 医局 TEL 075-251-5527 FAX 075-251-5522

URL <https://sites.google.com/koto.kpu-m.ac.jp/digestivesurgery>

消化器センター 外来 TEL 075-251-5023 FAX 075-251-5025

救急対応 消化器センター外来 TEL 075-251-5023 (平日9～16時)

救 急 外 来 TEL 075-251-5645・5646